

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【公開番号】特開2011-107640(P2011-107640A)

【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2009-265474(P2009-265474)

【国際特許分類】

G 09 F 9/00 (2006.01)

H 04 N 5/645 (2006.01)

H 04 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 09 F 9/00 3 5 0 Z

H 04 N 5/645

H 04 N 5/64 5 7 1 Q

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月12日(2012.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁に取り付けられた固定具に固定可能な画像表示装置であって、

画像表示パネルと、

該画像表示パネルを収容する筐体と、

前記筐体の背面壁と画像表示パネルの背部との間に介在するスペーサと、

筐体の背面壁とスペーサとを貫通して前記画像表示パネルの背部に捻じ込まれるネジ部材を備えることを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記固定具に連結されるべき連結部材を更に具え、

該連結部材の少なくとも一部が筐体の背面壁と画像表示パネルの背部との間に介在し、

前記ネジ部材が、前記筐体の背面壁、連結部材、及びスペーサを貫通して画像表示パネルの背部に捻じ込まれている請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

前記スペーサは、前記連結部材に形成された隆起部である請求項2に記載の画像表示装置。

【請求項4】

前記隆起部は、前記連結部材の一部を屈曲させることによって形成されている請求項3に記載の画像表示装置。

【請求項5】

壁に取り付けられた固定具に対し固定可能な画像表示装置であって、

画像表示パネルと、

該画像表示パネルを収容する筐体と、

該筐体の内部であって前記画像表示パネルの背部に設けられた連結部材と、

該連結部材に設けられ、前記固定具に該画像表示装置を固定するためのボルトをねじ込むための雌ネジ部と、

前記筐体の背面壁に設けられ、前記ボルトを貫通させるための貫通孔を備えることを特徴とする画像表示装置。